

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公表番号】特表2008-509724(P2008-509724A)

【公表日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-013

【出願番号】特願2007-525621(P2007-525621)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/82 (2006.01)

A 6 1 F 2/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 29/00

A 6 1 F 2/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月11日(2008.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

押出成形ステントであって、

ステント(112)を備え、前記ステント(112)は複数のセル(118)を形成する複数のステント素子(116)を有しており、

さらに、前記ステント(112)上に配置されている被覆(114)を備え、

前記被覆(114)は前記ステント素子(116)と前記セル(118)を封入しており、前記被覆(114)は継ぎ目がないことを特徴とする、押出成形ステント。

【請求項2】

前記被覆(114)は重合体であることを特徴とする、請求項1に記載の押出成形ステント。

【請求項3】

前記重合体は、ポリアミド類、ナイロン類、ポリウレタン類、ポリエステル類、これらの各種組合せ、二元重合体類、二元重合体の共重合体類からなるグループから選択されることを特徴とする、請求項2に記載の押出成形ステント。

【請求項4】

前記被覆(114)の前記ステント素子(116)を封入している部分は、前記セル(118)を封入している部分よりも厚いことを特徴とする、請求項1に記載の押出成形ステント。

【請求項5】

治療薬を含有して、前記被覆(114)の上に配置された被膜を更に備えることを特徴とする、請求項1に記載の押出成形ステント。

【請求項6】

前記被覆(114)の上に配置された潤滑被膜を更に備えることを特徴とする、請求項1に記載の押出成形ステント。